

### 【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

#### 1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

#### 2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

#### 3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

#### 4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

#### 5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

### 2階 介護 斉藤 洋子

毎年恒例の「お寿司の日」を今年は10月20日に行いました。

残念ながら今年もお寿司屋さんをお呼びして、目の前で握っていただくことは叶いませんでした。しかしながら、取り分けられたお寿司を前にすると利用者の皆様からは自然と笑みがこぼれ、食べては「おいしい」ととても喜んでいらっしゃいました。

これからも利用者の皆様が笑顔になるような行事を企画していきたいと思えます。



### 3階 介護 小番 健二

今年も「しょうわ大運動会」の季節がやってきました。今年はボッチャとボーリングで各階優勝目指し、腕を競い合っています。

10月は23日と27日、31日にボッチャの予選を開催しました。なかなか上手くできずに苦笑いされる方、狙い通りの投球ができ大喜びされる方など様々でしたが、皆様一様に真剣な表情で取り組まれ、大変盛り上がりしました。

11月にはボッチャの決勝とボーリングがあります。まだまだ利用者皆様の熱い戦いは続きそうです。





3階 看護 小笠原 直美

秋も深まり、朝夕はめっきり冷え込むようになりました。ご家族の皆様、体調を崩されてはいないでしょうか。

寒さが増すこれからの季節、例年であれば12月頃より流行するインフルエンザですが、今年は予防接種が開始となる前に流行している地域もあります。

基本的なことですが、手洗いやうがい、そしてマスクの着用や人混みを避けるなどで感染を予防することができます。

当施設でも引き続き感染対策をしっかりと行いながら、利用者の皆様が快適な療養生活が送れるよう環境整備に努めていきたいと思っております。

相談室 佐々木 祥子

昨年に引き続き、今年もご家族の皆様参加による文化祭の開催は中止させていただきます。また面会制限に伴い、ご家族の皆様にはご不便やご心配をおかけしております。ご利用者様の感染防止の為、何卒ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



8月21日から9月29日の6週間に渡り、秋田大学医学部保健学科の学生1名が作業療法の実習を当施設で行いました。実習は担当の利用者を受け持ち行い、学生の方のみならず、担当となった利用者の方にも良い刺激となったようです。



#### 【面会について】

新型コロナウイルスの感染者数増加に伴い、**8月25日より対面での面会を全て中止させていただきます。**面会は全て窓越し、またはタブレットでの面会とさせていただきます。一度の面会者数は2名迄、同じ時間に面会希望者が重なった場合は、お待ちいただくことがございます。また面会時間は大旨10分程度とさせていただきます。

面会時はマスク着用と手指消毒をしていたいただき、小学生以下（小学生を含む）や体調不良の方（下痢、風邪症状のある方や37.5℃以上の方）は、面会を御遠慮いただきます。

なお感染者数の増加や拡大状況によって面会を全面的に中止させていただくこともございますので、ご了承ください。

ご家族の皆様には再三にわたり、ご不便とご心配をおかけしておりますが、利用者皆様への感染防止のため何卒ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

○お問い合わせ先

介護老人保健施設「しょうわ」

0184-23-7100（代）